

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ヨシュア 1:2-3 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- \*賛美 …… 27番
- \*交読文 …… 7番
- \*使徒信条 …… 会衆一同
- \*頌栄 …… 25番
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …… 401番
- メッセージ …… 踏み歩いた所を自分のものとするために(創世記 13:10-18)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 …… 393番
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 …… 今週、パスターと川合先生は韓国へ出張しますが、日々の礼拝や祈禱会は通常通り行われます。
- \*主の祈り …… 会衆一同
- \*祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

しかし、神のゆるがない土台はすえられていて、それに次の句が証印として、しるされている。「主は自分の者たちを知る」。また「主の名を呼ぶ\_\_\_は、すべて不義から離れよ」。大きな家には、金や銀の器ばかりではなく、木や土の器もあり、そして、あるものは尊いことに用いられ、あるものは卑しいことに用いられる。もし\_\_\_が卑しいものを取り去って自分をきよめるなら、\_\_\_は尊いきよめられた器となって、主人に役立つものとなり、すべての良いわざに間に合うようになる。そこで、\_\_\_は若い時の情欲を避けなさい。そして、きよい心をもって主を呼び求める人々と共に、義と信仰と愛と平和とを追い求めなさい。愚かで無知な論議をやめなさい。それは、\_\_\_が知っているとおりに、ただ争いに終るだけである。主の僕たる\_\_\_は争ってはならない。だれに対しても親切であって、よく教え、よく忍び、反対する者を柔和な心で教え導くべきである。おそらく神は、彼らに悔改めの心を与えて、真理を知らせ、一度は悪魔に捕えられてその欲するままになっても、目ざめて彼のわなからのがれさせて下さるであろう。(2テモテ 2:19-26)

聖書には「約束の地」という言葉はよく出てくる。私たちイエス様を信じる者達が受け継ぐ「約束の地」は天国だが、イスラエルの民がエジプトという奴隷の地を出てから約束の地に入るまでに荒野を通らなくてはならなかったように、私たちもそこに入るまでに、この地上という「荒野」を通して行かなくてはならない。「民数記(ベ・ミッドバル: 荒れ野に)」を読むと、どうやら荒野(ミッドバル)で落伍して約束の地を踏む事ができない人も出てくるようである。約束の地に入れるか入れないかは、ひとえにどの言葉(ダバル)を選択し信じるかにかかっている。すなわち人間言葉か、それとも御言葉か。荒野で人を生かすのは御言葉であって、人間言葉は人を殺す。今回、どんな人が約束の地に踏み入り、どんな人が入れないかを見ていきたい。

本日の箇所は、神がアブラハムに、このカナン土地を永久に与える、という約束をされた箇所である。「約束の地」に入るためには、まず御言葉ありき、神の「約束」ありきである。私たちは何かと、ビジョンを思い描いて、自分の判断で「あそこはいい所だ」「あそこに行こう」と行動しがちであるが、それはロトの方法であって、私達の信仰の先祖アブラハムの方法ではない。彼は、ソドムとゴモラという主の御前にはなほだ罪深い町さえ、「よく潤っている」という理由で、「主の園のよう」と判断して、行ってしまった。(10-11節)ロトはソドムに住処を移したがために、後には、アブラハムと一緒に築いた莫大な財を失い、娘達もソドムの汚れた価値観に染まってしまった。アブラハムがロトと決別したように、私達も、自分の中にあるロトの思考、ただ見た目だけでソドムさへ「主の園」に見てしまうような見方と決別しなければ、約束の地は入れない。アブラハムが「その地をたてよこに行き巡りなさい。わたしはそれをあなたに与えます」(17節)と、主から約束が与えられたのは、ロトと別れた直後だった。それで彼は住居をヘブロンに移し、そこに礼拝する所を据え、その後も、天幕生活を続けた。彼は天の故郷を仰ぎ見たので、どんなに祝福されて富が増し加わっても、地上において自分の墓の土地しか購入しなかった。私達も、天国こそ真の故郷であり、地上における祝福にじっと目を据えて留まるのではなく、天を見据え、「いかに死ぬか」の準備をする方が良いのだ。

アブラハムの子孫達が、実際にその土地を自分のものとしたのは、さらに数百年後の時代になる。アブラハムが住んだヘブロンを勝ち得たのは、ユダ族のカレブであった。彼がその土地を偵察部隊としてはじめて足の裏で踏んだのは、彼が40歳の時だった。その時彼は先祖アブラハムゆかりの地に強烈な憧れを抱き、ぜひあの山地を獲たい、と願ったのだが、そこを獲るまでには、さらに45年を経なければならなかった。なぜそんなに長くかかってしまったか。それは、ロトの価値観を持つ者達の故であった。偵察にはイスラエル12部族代表の12人が行ったが、ヨシュアとカレブは、そこはとて素晴らしい地だ、主が共におられるなら必ず勝てる、ぜひ進み行こう、という意見だったのに、それ以外の者達は、そこを悪く言いふらした。そこは強大な大勢の者達が城壁の町々を守っている、あそこは自分達を食い尽くす地だ、彼らに比べれば自分達はいなごのようだった、と。(民数記13章)。ここに、約束の地に入っていける者と、そうではない者とが分かれる。一方は神の約束を信じ、神が共におられるなら、必ずあの地を我がものにする事が出来る、と判断する者。他方は、神を度外視し、ただ相手と自分の力強さや知恵深さ、経験や装備を見比べて判断する。このように、共にいます神を眼中に入れずに、目に見えるもの・数値化されたもので比較し、判断し行動する人は、神の約束の地に入って行けない。神の言葉を、自分の頑張りや能力で完成させようとする人がいるが、逆である。神の言葉が、人を完全にするのだ。人の頑張りや知恵、能力で神の国の事柄を完成させて行こうとしても、絶対に無理が生じる。ヨシュアはどのようにして、何世紀にもわたる知恵と力の結集である城塞都市エリコを7日で陥落させたか。それは100%、主の指示通りに従って行動したからである。それも、6日間は人々の口を閉じさせ、ただ祭司の吹き鳴らすラッパの音だけを響かせて、その城の周りを、足の裏で踏んで回っただけだった。そして七日目、七人の祭司が七つのラッパを吹き鳴らし、主の民が鬨の声をあげた時、何世代にも渡って築き上げて来た城壁は崩壊し、いともあっさりと勝利できたのだ。そこにはアナク人や筋肉隆々の強者がいたかもしれないが、人間の言葉(ダバル)を閉ざし、神の言葉に従ったからこそ、どんなに経験が無い、弱い人でも、いともあっさりと、ものに出て来たのである。沸々と湧き上がって来る人の言葉は閉ざし、ただ御言葉を信じて進み、勝利し、支配する皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://www.youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

#### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ/賛美 12:30～  
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
火～木 夜の祈祷会 19:30～

#### 水曜礼拝

1部 13:00～  
2部 19:30～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター：林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube